

一般会計大幅増額 8対1で可決

今回の補正は、一般会計に、旧幼稚園舎を(仮称)文化交流複合施設に改装するための工事費や、駅東側で整備が進められている住宅地の販売に向けた費用などが計上され5億円を超える大幅な増額となりました。多くの質疑を経て、賛成8、反対1で可決しました。

6月補正

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	5億5445万円	61億0072万円
国民健康保険特別会計	14万円	8億1562万円
土地開発事業特別会計	392万円	1億5623万円
公共下水道事業特別会計	750万円	2億2029万円
介護保険特別会計	72万円	6億6401万円
合計	5億6673万円	79億5687万円

主な内容

● (仮称)文化交流複合施設整備事業	2億9920万円
● 移住・定住促進事業	1億1307万円
● 河川ハザードマップに基づく浸水シミュレーション作成事業	2500万円
● 二酸化炭素排出抑制対策事業	993万円
● アルパカ飼育事業	567万円

反対討論

効果が見定められていない

阿部憲一議員

移住定住促進対策を
実施するにあたり、効果を見定めて費用を積算すべきです。
結果が出ない場合を想定しておらず、こう
いうお金の使い方は町民に申し訳が立たないため反対します。
質疑もしました。



旧幼稚園舎

6月定例会 質疑

町内の税の還流を図るべき

門馬巧議員

東町仮置場原形復旧工事の受注者について、特定建設工事共同企業体を構成する事業者のうち、1社は町内に事業所がありません。町内事業者を育成し、税金の還流を図る観点から、町内事業者1社のみで工事を発注することはできないのですか。

林総務課長

6月定例会の質疑では、一般会計補正予算を中心に、必要に応じた費用の算定や、効率的な財政運営を図るための措置など、議員が様々な意見を出しました。その中の一部を紹介します。

税の還流をはかり 効果的な予算措置を

町内の事業者で特定建設業許可を受けているのは2社のみであり、残りの事業者は一般建設業になります。今回の事業は2億円を超えており、建設業法により一般建設業は4千万円を超える下請けを出すことができないこと、工事の規模から町内事業者1社のみでの施工が難しいと判断したこと、指名委員会において町内事業者に受注機会を与えるため、共同企業体という方向付けをしました。

アルパカの飼育費は適正か

黒田 政徳 議員

二ツ沼総合公園でのアルパカの飼育を(株)広野町振興公社に委託することのことですが、人件費、餌代、消耗品費、顧問獣医費というのはそれぞれいくらですか。

人件費などで受託者に過度な負担を与えないように費用を算出していますか。

小松 復興企画課長

餌代として年間約140万円、人件費で約150万円、獣医費で約24万円程度、その他が消耗品です。

飼育業務と他の業務を兼務することで十分に対応可能であるとのこと、こちらの費用で賄えると判断しています。

費用対効果を担保せよ

阿部憲一議員

小松復興企画課長

移住定住促進対策費約1億1000万円のうち、情報ポータルサイト等整備事業委託費に約5000万円の費用が計上されています。これだけの金額をかけて宣伝の結果が出なければ意味がなく、維持費もかかるため、PR会社を利用するなど他の方法を検討するべきだと思えますがいかがですか。

ポータルサイトについては、既存のホームページ等と連携してシステムを作る費用となっており、ホームページの改修やアプリ、応援サイトの改修費用も含んでいます。



サイクルセンターを飼育舎に改修